

a 学校教育目標		学びに向かい、心豊かで、健やかな児童の育成 ～「かしこく」「やさしく」「たくましく」～		b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 「通ってよかった」「通わせてよかった」と誇りに思われる学校									
評価計画						自己評価				改善方針		学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成(かしこく)	授業力の向上	○小泉小学学習モデル(「課題設定」「個人思考」「集団思考」「まとめ」「振り返り」)に沿った授業の実施と充実 ○既有的な知識を事象に関連付ける力の育成と「話型」「振り返り」の効果的な活用 ○ICTを活用した授業改善 ○定期アンケート評価による成果と課題の把握、分析、改善策検討	教師評価により、以下のことを見取る。 ○「話型」の活用による具体物、半具体物を用いて説明する(表現する)児童の割合 ○「わ(わかったこと)」「が(がんばったこと)」「と(友だちの考えから学んだこと)」「も(もっと知りたいこと)」に沿って、自らの学びを調整しようとする児童の割合 ○算数科、外国語科においてICTを活用した授業を仕組む各学期1回以上仕組む教員の割合 ○外国語科のやり取りにおいて、簡単な語句や表現を用いて、3往復程度の会話を継続できる児童の割合 ○単元末テスト「思考・判断・表現」のポイント	7月80% 12月85% 2月90%											
	基礎学力の定着	○学力向上週間の計画的、効果的実施 ○計画的、効果的なドリルタイムの実施 ○家庭学習の質的向上とやり切らせる指導 ○学力調査の結果と課題分析を、全教職員で実施、個に対応した手立てと授業改善策の検討 ○学力調査40ポイント以下の児童への手立ての充実	○学力調査において、全学年が算数科において市平均を3ポイント以上、国語科、理科において全国平均を3ポイント以上上回る。 ○学力向上朝会において、40ポイント以下の児童に対して複数体制での指導を実施した割合	85%以上											
豊かな心の育成(優しく)	ふるさとを愛する心身の育成	○一校一貢献をゴールとした生活科、総合的な学習の時間を中心とした「地域貢献活動」の効果的実施 ○学期毎に取組内容の効果の検証、改善策検討	○学校アンケート「小泉町に住んでよかったと思う」肯定的評価4の児童の割合	85%											
	「小泉小5つの宝」の継承	○「小泉小5つの宝」(①ほかほか言葉②だまって掃除③美しい靴揃え④気持ちのよいあいさつ⑤静かな廊下歩行)の共通理解と日々の取組実施 ○ハイパーQUや定期アンケートの評価による成果と課題把握、分析、改善策検討	○「小泉小5つの宝」のうち生徒指導部の設定した重点項目を用いた重点強化週間振り返りにおける児童の肯定的評価 ○ハイパーQU (6月中旬、1月下旬)分析による学級生活満足群の割合で評価	85% 60%											
健やかな体の育成(たくましく)	運動能力の向上	○体力テストの結果分析による課題(平成31年度課題50m走、シャトルラン)を克服することを目的とした、体育(がんばり)朝会、体育科の授業等での取組実施 ①走り方の指導(指導用の動画を活用) ②毎時間の体育科の授業冒頭におけるダッシュ実施 ③体育(がんばり)朝会での3分間走実施 ○運動会、3分間走等において児童が自己目標を決定(がんばりカードの活用)、目標達成に向けた取組実施	○重点項目「50m走」「シャトルラン」において、平成31年度の国・県平均以上の学年	90%以上											
	体をつくる	○栄養職員、養護教諭による、食べ物や、食事を作ったさる方などへの、感謝の気持ちをもたせる取組実施 ○各学級において、給食を食べ切る分量の自己決定と完食しようと努力する児童の育成	○栄養職員と養護教諭による栄養指導を各学年年1回以上行う。 ○学校アンケート「給食は自分で決めた分量を食べていますか」の肯定的評価	100% 90%以上											
信頼される学校	活用する	○開発した地域の教材、施設の効果的活用 ①生活科、総合的な学習の時間における地域教材の発掘、施設との交流 ②ゲストティーチャーの招聘と活用	○地域、施設、人材の活用の効果の検証と新たな教育活動の再構築	各学年学期1回以上											
	発信する	○学校便りの定期的な発行とPTAを活用した地域への配付 ○学年便りや学年の教育活動の様子HPアップ ○一校一貢献の取組の学期1回以上のHPアップ	○保護者アンケートにおける「学校は保護者の願いに応えた教育を行っていると思われませんか」の肯定的評価	90%以上											
	組織の活性化と効果的な教育活動推進	○学校経営会議を核とし、ベクトルを揃えた取組実施 ○各部会(研究推進部、生徒指導部、保健体育部)による進捗管理とPDCAサイクルによる改善策の検討実施 ○学校経営会議、準衛生委員会を活用した「働き方改革」の更なる推進(45時間以内、持ち帰り)	○「効率的な働き方ができている」「児童と向き合う時間が確保できている」教職員の肯定的評価	100%											

【: 自己評価 評価】  
A: 100≦(目標達成)  
B: 80≦(ほぼ達成)<100  
C: 60≦(もう少し)<80  
D: (<できていない)<60

【: 学校関係者評価 評価】  
イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。  
ハ: 分からない。